

第6回 京成大久保駅周辺地区に関する意見交換会



平成25年7月28日（日）に、勤労会館で「第6回 京成大久保駅周辺地区に関する意見交換会」を開催しました。

目的

京成大久保駅周辺のまちづくりについて、これまで幾度も議論されてきましたが、駅周辺にお住まいの方や、商店街の方などの意見を集約できず、今日に至っています。

そこで、京成大久保駅周辺の現状について、地区の皆さまに共通認識を持っていただくとともに、活発な意見交換を行っていただき、その中から京成大久保駅周辺におけるまちづくりの方向性を見出すことを目的として、この意見交換会を平成23年度から開催しています。

参加者

- ◎ 本大久保まちづくり会議（4名）
- ◎ 大久保・泉・本大久保まちづくり会議（3名）
- ◎ 屋敷・花咲まちづくり会議（3名）
- ◎ 大久保商店街協同組合（2名）
- ◎ 習志野市
市長、企画政策部長、企画政策部次長、財政部参事（資産管理室長）、財政部主幹（資産管理課）、事務局（企画政策課3名）

市長あいさつ



習志野高校野球部の、夏の大会が終わりました。同校野球部への熱い応援、ありがとうございました。また、今年も習志野市のポロシャツを作りました。デザインは「習志野市市制施行60周年」と「健康なまちづくり条例」の2パターンあり、市民のみなさんへも販売しております。みなさんも、ぜひ、着ていただければと思います。

本日は暑い中お集まりいただき、感謝申し上げます。本日も活発な意見交換に期待しております。

前回の意見交換会におけるご意見等に対する報告

第5回意見交換会における懸案事項等に対する報告

- (1) 「駅北側のハミングロードの連続性の確保」について
 - ・ ハミングロードにおいてキロポストが設置されていない箇所を調査・確認し、年内を目途に再設置を予定している。（2 km・3 km・3.5 km・4 kmの4か所⇒終了後に再調査する）
 - ・ 「鷺沼遊歩道」から「菊田遊歩道」間の一部未整備区間については、すでに迂回路を案内する看板を設置している。
- (2) 駅西側踏切付近の安全性の確保に向けた取組みについて
 - ・ 京成大久保駅西側踏切の北側道路を一車線化する案について、習志野警察から概ね問題無いとの見解が示されている。
 - ・ 周辺の交差点における交通量調査を実施し、解析完了後に地元や千葉県警と対応を協議していく。
- (3) ICカード専用改札機・改札口の事例説明について
 - ・ IC専用改札口を導入した事例では、地元住民に戸惑いがあるようである。
 - ・ 磁気(ベルト)併用タイプと比較して、初期費用、メンテナンス等の費用が抑えられるようである。
 - ・ 習志野市近隣にも時間帯によって無人になる駅や無人改札口は設置されており、そのような場合、遠隔監視システムや防犯カメラなどが設置されている。

意見交換会テーマ：大久保地区公共施設再生の方向性について

大久保地区公共施設再生の方向性

現時点での市の考え方を、資産管理室から説明

◎公共施設再生の目的

- ・耐用年数に近い老朽化した施設の再生
- ・効率的な運営により生まれる財源を活用したサービスの充実
- ・必要なニーズに確実に応え、快適な施設を提供

○大久保地区の公共施設再編の手法

- ・京成大久保駅を中心として半径1キロメートル圏に位置する老朽化が進む公共施設を、中央公園に集約し、多機能化・複合化して建て替える。
- ・対象となる施設は、大久保公民館・市民会館、屋敷公民館、大久保図書館、藤崎図書館、ゆうゆう館、あづまこども会館、勤労会館を想定している。

○施設を集約することへの課題

- ・新たな施設までの移動距離の増加
(屋敷公民館、ゆうゆう館、藤崎図書館、あづまこども会館)
- ・現在の活動を継続できる施設規模の確保
- ・複合化した各機能の適切な運営



イメージ図

大久保地区公共施設再生プロジェクトに係る参加者からの主な意見



中央公園へのアプローチ



施設と公園の一体化イメージ

(1) 大久保地区公共施設再生プロジェクトについて

- ・大久保地区におけるまちづくりの大枠を考え、それに見合う公共施設の機能を考えていく必要がある。
- ・現役世代は、現在公共施設をあまり利用していないが、リタイアする頃に利用することを想定すると、この世代へのアプローチが必要ではないか。
- ・現状の使用頻度や人の流れなどを踏まえる必要があり、維持管理の面からも、集約できる施設は集約してほしい。
- ・公共施設の適正な使用料を考える必要がある。それが財政への一助になると思う。

(2) 大久保地区公共施設再生プロジェクトとの関連について

- ・京成大久保駅の改修と公共施設の再生は、一緒に考える必要がある。
- ・京成大久保駅を含めた地域全体のまちづくりとして考えることを、京成電鉄株に伝えてほしい。
- ・魅力あるまちをつくれれば、人は住むし、駅舎をどうにかしようという雰囲気にもなる。自分たちで住み続けていくまちを作っていくことが問われている。

※次回の意見交換会は、開催日時が決まりしだいお知らせします。